

5. 看護スタッフ育成に有効活用できるスキルラボセンター設置・運用の推進

群馬大学医学部附属病院 長谷川 正志

【実践の概要】

群馬大学医学部附属病院医療人能力開発研修センター設置計画の中に、スキルラボセンター（以下スキルラボとする）設置計画が進められてきた。昨年末には設置場所が確保され、設置に向けての具体的な活動が進められている。看護教育に関しては、7：1看護体制により増員となった新人の技術研修や、現任者のスキルアップ支援のために、シミュレータを利用したより実践に近いトレーニングが必要である。看護技術研修の充実をはかるために、看護部の要望が充分に取り入れられたスキルラボを設置ことが重要課題である。

【実行計画】

1. アクションプランの目標

- スキルラボ設置・運用に関する他施設の情報収集を行い、当施設における設置・運用に関する企画を立案する。
- 関連会議・委員会等に企画を提案し、ラボ設置に向けて意欲的な取り組みを推進する。

2. アクションプラン

- 他施設の見学を通しラボ設置までに取り組んできた事柄や、運用状況等の情報を得る。
- 看護部キャリア開発支援委員会を中心に、具体的なラボ設置・運用企画を立案する。
- 他施設の情報及びスキルラボ設置・運用企画を、スキルラボ設置検討WGに提案し、具体的運用に向けての強力な推進力となるようにチームワークを高め、具体的設置を進めていく。

【結果およびまとめ】

- 2施設の見学を行い、施設運用までの経過や運用状況等の情報収集を行った。
- 看護部キャリア開発支援委員会メンバーへ、施設見学の報告を行った。今後はラボの設置・運用の検討を進めていくことを共通認識し、看護部各部署からの運用に関する要望を元に企画案を作成中である。
- 臨床研修センター運営委員会・スキルラボ設置検討WGにおいて、施設見学の報告を行った。今後は、医師、看護師、事務部門合同で施設見学を行うことを検討している。
- スキルラボ設置を進める関連委員会と情報交換を行い、設置・運用に関して検討を行っている。
- スキルラボ運用の面で重要となる、看護技術指導者育成研修の企画を同委員会に提案し了承された。

【評価】

スキルラボ設置に関連する各委員会に具体的設置・運用に関する情報提供を行ったことで、当院で設置するスキルラボに関してイメージを共有できるようになった。

スキルラボ設置・運用に関しての看護部としての意見が求められるようになり、今後はスキルラボ設置検討WGメンバーと、看護部との連携を強化し、設備、機器・器材の検討、運営方法等、具体的運用に向けて協働していくことを確認できた。